

第38回日吉台学区民大運動会プログラム

種目	出場資格	募集人数	集合場所	内容
1 玉入れ	60歳以上	15人以上 27人以内	入場門	玉の数50個 30秒×2回
2 幼児走	幼児	50人	入場門 先着順	短い距離を走る。
3 5分間持久走	小学生以上	50人	入場門 競技受付	5分間走る。歩いてもOK。
4 ボール運びリレー	一般男女(18歳以上) 各4名	8人	入場門	ラグビーボールをキックして走り、ラケットに乗せ走る
5 買い物競争	70歳以上 一般男女(18歳以上)	30人 50人	入場門 先着順	カードに書かれている品物を買ってゴール
6 小学生リレー	小学生以上	36人	入場門 競技受付	トラック半周を走る
7 おもしろリレー	小学生以上 一般男女問わず(18歳以上)	9人	入場門	リム回し、ラグビーボール投げ、ゲートボール 繰り返して3回する。

※太文字が丁対抗の得点種目

コロナ禍次第で、開催できるか不透明

新型コロナウイルス感染症の影響で、種目削減、開催時間短縮など簡素化される今年度の学区民運動会開催方針が、8月7日開いた学区民運動会実行委員会でも正式承認された。7月から8月にかけて、県内の新型コロナウイルス感染者数は爆発的に拡大しており、予定どおり10月9日に開催できるかどうか現時点で見通せないが、実行委として実施する方向で準備を進め9月25日開く予定の第3回実行委で最終決定することにした。

簡素化運動会、正式に決まる

10月9日開催、種目削減、リレー取り止め

学区自治連合会と学区スポーツ振興会は6月11日夜、日吉台市民センターで「令和4年度学区民運動会」の事前協議を行い、

今年の運動会について、種目削減や時間短縮など新型コロナウイルス対策を実施して10月9日、日吉台小グラウンドで3年ぶりに開催することを決め、実行委にはかった。

今年の運動会は、コロナ対策を優先させた。実施種目は、玉入れ、ボール運びリレー、おもしろリレー、幼児走、5分間持久走、小学生リレー、買い物競争の7種目に削減。

各丁が対抗得点を競う運動会の花、男女混合対抗リレーは、メンバー選出が難しいとして中止、閉会式でのお楽しみ抽選会も取りやめた。このため競技表彰も大幅に削減、閉会式では、総合1位から3位までの総合表彰にとどめる。

開催時刻も午前9時から正午までに短縮、会場での昼食休憩も行わない。事前協議で雨天などのさい



HIYOSHIDAI

発行
日吉台学区
まちカキパニ

編集責任者
野々口 義信



学区ホームページ

新自治組織「まち協」の調査開始

先行の下阪本学区から聞き取り

大津市が提唱する新地域自治組織「まちづくり協議会」を調査する「日吉台学区まちづくりカンパニー」(会長、濱崎博・元学区自治連合会長)は8月17日、日吉台市民センターに隣接する下阪本学区まちづくり協議会の三田光夫会長、同学区自治連合会の真嶋龍道会長を招き、下阪本学区がすすめる「まち協」について設立の経緯、活動状況などの説明を聞き取り、調査活動をスタートさせた。

発が進み市内有数の人口急増学区。現在38の自治会があるが、自治会加入率は、37%と著しく低く、市内でもワースト1、2を争っているという。近年、「地域活動に関心がない」「関心があっても事情があって参加できない」など地域のつながりが弱体化、自治会役員や各種団体の担い手不足に、担い手の高齢化などで、事業継続が困難になっているという。

このような状況を打開するため、さまざまな課題に対応できる新しい仕組みづくりを検討、今年



4月「下阪本まちづくり協議会」を発足させ、学区住民みんなが参加、学区の各種団体が、これまでの個々の対応から脱皮して、横断的な活動で街がかかえる課題解決にあたり、全国的な課題である災害に強いまちづくりを推進させる学区を目指すことにした。

初調査には、日吉台学区側から濱崎会長ほか、野々口義信日吉台学区自治連合会長、まちづくり

活動している。

「やらない選択肢もある」ことを確認した。

の支援体制などについて報告。質疑がなされる中、日吉台学区として、まち協ありきの調査ではなく「やらない選択肢もある」ことを確認した。



初協議を開始

まちカンパニー

い翌10日を予備日としたが、実行委で予備日は設けないことも決めた。

コロナ対策として参加者、観戦住民の把握や各丁テナント内の密対策など県のガイドラインに沿った感染症対策も運動会実行委で検討、実施する。従来学区外から招いていた来賓についても今年度は実施しない。これら種目削減、時間短縮は今年度限定のもの。なお、運動会練習日は10月2日午後3時〜4時(雨天の場合は、体育館)。

市が提唱する「まちづくり協議会」は、自治連合会、各自治会と違い、学区のすべての団体、住民が加盟、包括して活動する新組織。日吉台学区は、過去にまちづくり協議会を設立、空き家対策事業、日吉台新聞編集、発行事業、野菜マルシェ事業、自治連合会改革案検討、江若バス対策などのまちづくり事業を行ってきたが、市がいう「まちづくり協議会」は性質が違うもので混乱を避けるため現在は「まちづくりカンパニー」として活動している。

学区まちづくりカンパニーの定例会が8月17日開かれ、新自治組織、まちづくり協議会設置問題について初協議を実施、先に聞き取りを実施した下阪本学区自治連合会(真嶋龍道会長)が行うまちづくり協議会活動について報告した。写真。下阪本学区は今年4月、まちづくり協議会を発足させ活動を開始。この日のカンパニー初協議では、濱崎博会長が、下阪本学区から聴取した活動開始の経緯、背景、自治連合会とまち協との関係、市の支援体制などについて報告。質疑がなされる中、日吉台学区として、まち協ありきの調査ではなく「やらない選択肢もある」ことを確認した。

下り坂走行注意

- ◆自然加速で速度超過
- ◆制動距離増加

◆終端付近見通し不良

制限速度を守り 終端付近では最徐行

鹿児島県南さつま市開催

全国スポーツ少年大会参加

全国の仲間と交流深める

日吉台スポーツ少年団の佐々さん、流さん



スポーツ少年大会に参加の佐々さん、流さん。中央は引率の山本団長

鹿児島県南さつま市の鹿児島県立南薩少年自然の家で、8月4日から7日までの4日間開催された日本スポーツ協会日本スポーツ少年団主催の「第60回全国スポーツ少年大会」に、市立日吉台2年生で、日吉台スポーツ少年団の2団員が選ばれ参加、スポーツや野外活動を通じ、全国のスポーツ仲間と交流を深めた。

大会は「チエスト日本！逆境を超えて 広がる笑顔と絆の環」をテーマに開催。全国32都道府県の指導者と団員の計91人が参加、集団生活をしながらスポーツ、文化学習、野外、交流活動などを行い、スポーツ活動の推進とリーダー育成をめざすスポーツ交流大会。

滋賀県からは日吉台スポーツ少年団の山本直樹団長の引率のもと日吉台2年生、佐々実優さん、同、流一樹さんの2団員が参加、4日間、障害者スポーツ体験や平和学習、サイクリング、カーなどの野外活動ほか、キャンプファイアやディスカッションなどが行われ、全国のスポーツ仲間と集団生活をしながら貴重な体験を学び、交流の輪を広げた。

佐々さん、流さんは、2人とも小学生のころから日吉台スポーツ少年団での活動を続けており、4年生、5年生の時、近畿スポーツ少年大会にも参加、ジュニアリーダーの資格を取得している。

全国大会に参加して佐々さんは「さまざまな体験ができ、仲間とかかわりを深めあううれしき、いろいろなスポーツを体験する楽しさ、自然とのふれあいや命の大切さなどたくさんを学びました。平和学習では戦争をなくしたいこと。カー体験ではみんなで力を合わせることを学びました。また、障害者スポーツ体験やキャンプファイアも楽しめました」と感想を語っていました。

学区要望提出

自治連提出は5件

路側帯の設置

日吉台四丁目市道中0102号線(全線)、中0120号線は日吉台小学校通学路であるが、雄琴方面からの通過車両の一部が市道中0101号線の一旦停止を回避するため通過することがある。

と幹2114号線のT字交差点には横断歩道が設置されているが、2115線の街路樹で、走行車両から歩行者が認識されにくい状態となっている。ついては横断歩道手前

浸水被害の発生リスクを十分認識していないと思われるので、どういう原因でこのような水害想定がされているのか、行政側でどのような対策が講じられているのか(或いは予定されているのか)、避難所である市民センターへの経路に問題はないのか、住民側でどのような備えが必要なのか等について、説明会の開催をお願いしたい。

照明灯改善を

交通死亡事故の発生した幹2115号線高橋川架橋部について、既設の南東側照明に加え、幹2115号線と中0138号線交差点北西側に新たな交差点照明を設置していただいた。しかし、新設された北西側照明は、既設の南東側照明に比較

し設置高さが低く照度が不十分なため、横断歩道の西側と東側での照度差が大きく、特に自動車運転者が東側から横断歩道を渡るうとする歩行者を視認するのが難しい状況である。夜間交通の安全確保のために、歩道の両端まで照らせる、東南側同様の照射範囲が広く明るい照明に交換していただきたい。写真左上。

自治連事務所設置を

日吉台市民センター内の自治連合会事務所の設置要望で、数年継続して要望しているが進展が見られない。今後、まちづくり協議会などの設置検討においても必須要件と考えられるので、早急に実現するよう希望する。

街路樹伐採

日吉台市民センター付近の市道幹2115号線

浸水被害防止対策

今年度配布の「水害ハ



日吉台市民センター内の自治連合会事務所の設置要望で、数年継続して要望しているが進展が見られない。今後、まちづくり協議会などの設置検討においても必須要件と考えられるので、早急に実現するよう希望する。

児童クラブ園庭を草刈り

草刈り株式会社



日吉台小学校に隣接する児童保育所、大津市立日吉台児童クラブで、7月30日、日吉台グラウンドゴルフクラブ(北海彰会長)有志による園庭の草刈り奉仕が行われた。写真。

雑草の勢いに追い付かずみかねた同クラブが昨年からの奉仕作業をしているもので、今年が2回目。今年の作業には、呼び掛けに応じた7人が参加、草刈り機や鎌などを使い2時間ほどかけ、子どもひざまで園庭いっぱい伸びていた雑草を刈り取り、除草きれいにした。

困ります!そのオシッコ!!

マナーを守りましょう!



犬のトイレは適切な場所で!

※ 犬の散歩の際は、フン尿の処理が可能な用品(ビニール袋、水入りペットボトル)をしましょう。

大津市動物愛護センター